



[ハレとケのまち京都]
路地の地域コミュニティ

歴 2-05 (R03)

花街宮川町にも近い大黒町通に位置する「あじき路地」は、京都最古の禅宗寺院である建仁寺御用達の紙商であった安食（あじき）家が、代々所有する長屋と路地です。

長年借家として使用されており、近年では、ものづくりやアートを志す若者の向けに、場所を確保して応援するため、アーティスト志望の若者を積極的に受け入れるようになりました。

間口1間ほどの吹き抜け門をくぐると、平安時代末期頃に人々の暮らしのため作られた路地と、明治43年に建てられた町家が連なる空間が目の前に現れ、まるで時代が遡ったかのような錯覚に陥ります。

路地の北側には、木造瓦葺き2階建ての4軒長屋が3棟、南側には平屋建て2軒長屋が2棟並んで建ち、町家の他にも地蔵祠と小さな社が祀られ、町家の脇には井戸のポンプが2台置かれています。

共有空間である路地、地蔵祠や社などがいつも綺麗に手入れされていることから、住民の意識の高さと良好なコミュニティ形成を感じることができます。

近年、この路地はメディアにも度々取り上げられ、音楽ライブの開催や、映画のロケ地として使用されるなど、京の町家の魅力を広く伝える存在となっています。



家具工房



ライブ中



〒605-0831 京都市東山区大黒町通松原下ル2丁目山城町284

アクセス 京阪電車「清水五条駅」徒歩7分

ホームページ <http://www.ajikiroji.com/>